

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ソレイユの森アクティブ 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年10月20日		～ 令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43名	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月12日		○公表日 令和8年3月10日

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動療育を通して、お友達とのコミュニケーションや社会性を多く学んでいけること。	・事業所内でのルールや約束を都度確認し、子どもたちに伝え、理解に時間がかかる子などに対しては、個別に再度伝える等を行っている。	・子どもたちが「やってみたい、挑戦してみたい」という気持ちを引き出せるような内容をもっと提供できるようにしていく。
2	・祝日等にはクッキング、社会見学、スキーなど、普段ではできないような活動を取り入れ、様々なことを経験できること。	・様々な経験、体験ができるように、普段家では行うことが難しいことや、学校の体育で始まる科目を療育内でも取り入れている。	・参観日や発表会等を企画していくことで、普段のソレイユでの様子や、保護者同士での関わりを増やしていきたい。
3	・子供たちに寄り添った支援を行なっていることで、保護者には安心感、子どもたちには「楽しかった、また行きたい。」と思ってもらえることができ、「通う回数を増やしたい」という声を多くいただいていること。	・日々通っている中で、良い行動が見られた際には、褒める等の声掛けをし、成功体験につなげられるような関わりを行なっている。 ・保護者とお話しする際は、活動内容や写真を共有し、子どもたちの姿や活動の内容などを細かく伝えている。	・子どもたちや保護者からの言葉を職員間で共有し、安心して継続して通える環境を提供できるように、日々職員間で話していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が少ない。	・放課後等デイサービスの再開から期間があまりたっていないため、実施する時間が確保できていなかった。	・参観日や保護者会などの開催についてのアンケートを取り、実施していく。 ・保護者や子どもによって、機会を必要としていないご家庭もあるため、状況に応じて機会を設けていく。
2	・地域や外部連携の不足。	・保護者からのニーズが少ない。 ・地域イベントへの参加や協力を引き出す体制が整っていない。	・地域で行っているイベント等への参加を行なっていき、その中で地域の方々との交流する機会を増やしていく。
3	・職員間で支援スキルや知識の差があり、支援の質にばらつきが見られることがある。	・専門的な知識や技能を習得する機会が少ない。	・外部研修に参加できるようにしていく。 ・研修会等を開き、職員間で知識や技能を今まで以上に伝えあっていく。

事業所名 ソレイユの森アクティブ 放課後等デイサービス

公表日 令和8年3月10日

利用児童数 43

回収数 35

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	0	0	2	・広いスペースで活動しやすいように思える。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	26	4	0	5	・十分な人数が配置されていると思う。 ・最近見れていないのでわからない。	・定期的に希望を聞き、必要であれば見学の対応をしていこうと思う。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	2	0	6		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	29	2	0	4	・見学で見たときに清潔だった。 ・昨年度見学へ行ってから、施設を見ていないのでわからない。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	1	0	1	・子どものことをよく見てくれていると思う。	・1人1人に向き合った支援が出来るよう、意識している。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	0	0	0	・あっていると思う。	
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	2	0	0	・子どもの特性を理解してくれていると感じる。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	2	0	0	・口頭での説明と共に、支援計画をいただき、納得できるものだった。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	0	0	1	・行なわれていると思う。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	1	0	3	・様々なことをやらせてくれている。	・週によってやる体操・内容、月によってイベントや制作を行なっているので、継続して行っていく。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	12	3	5	15	・わからない。 ・行っていると聞いたことがない。	・今後、町内等のイベント行事への参加を検討していく。
保 護 者 へ の 説 明	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	1	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	0	1	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3	8	11		・家族支援を行う機会があった際に、ペアレントトレーニングを含めた内容の支援を検討していく。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	34	0	0	1	・利用のたびに詳しく子どもの様子を教えてくれている。 ・療育での様子をいつも教えていただき、こちらも家での様子を伝えることが出来ている。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	0	3	3	・行なわれている。 ・送迎の際に相談すると、アドバイスをしてくれている。	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	0	0	1	・先生たちは全員話しやすく、相談にも親身になって向き合ってくれている。		

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	6	13	10	・今のところ、兄弟同士の交流の機会はないと感じる。	・参観日を実施した際に、保護者会等も同時に開催できるように行っていく。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28	3	1	3	・相談もよく聞いていただき、気軽に聞ける環境にしてくれている。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	1	0	1	・送迎のタイミングで、毎回話し合える時間を取ってくれている。 ・日々の子供の状況を先生たち間で共有してくださっていると感じる。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	30	1	0	4	・行事がある際には、プリントやLINEで教えてもらっている。	・イベントや行事がある際は、事前にLINE等で伝えている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	1	0	1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	2	0	2	・行なわれていると思う。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	1	0	2	・行なわれていると思う。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	1	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	0	0	2		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35	0	0	0	・子どもの特性上、不安になりやすく「行きたくない・・・」ということもあるが、行けば楽しく帰ってきて、体操もやる気満々になった。	・今後も安心して通える環境を提供し続けられるよう、日々意識していこうと思う。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	3	0	0	・小学生になってから、より楽しみに通っている。 ・友達がいないと「行きたくない」という言葉が出てきている。	・友達がいるから行くも大切だが、事業所の活動が楽しいと思えるように日々考えていきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	0	0	0	・親子共に寄り添った支援をしていただき、いつも感謝している。 ・子供の得意なことを伸ばし、自分に自信ができたようで、感謝している。	・日々、子供の様子等を職員間で話し合い、その子の将来に向けた支援ができるように今後も話し合っていきたい。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ソレイユの森アクティブ 放課後等デイサービス				公表日	令和8年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		運動スペースでは、ブースごとに分けるなどを行なっている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		各コーナーに職員は最低1人配置し、フリーで動ける職員も複数配置している。	活動内容や、子どもの特性により職員が子どもにつくため、職員が少なく感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリーではないが、危険がある場所（階段等）にはルールを設けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		並ぶ場所、物を置く場所等に、目印を置くことで、目で見てわかりやすい環境を作っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		その日の体操種目や、子供の特徴を考慮しプログラムを組んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		児童発達支援事業所との情報共有は、よく行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			スーパーバイズや助言や研修を受ける機会が少ないため、今後は積極的に参加できるように、検討していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を設ける時間が少ないのが現状のため、今後行っていけるように検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会等を設ける時間が少ないのが現状のため、今後行っていけるように検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		初回面談の時に、すべて確認・共有をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				